

愛知県障害者基礎調査報告（速報値）

1 調査対象

- 県内の障害者 3,100 人に対して、調査票を郵送または手渡しし、調査を行った。
（対象の内訳は以下のとおり）
 - ①身体障害者：1,500 人（政令・中核市を除く手帳所持者から抽出。肢体 700、内部 500、視覚 100、聴覚 150、音声言語 50 とする。）
 - ②知的障害者： 400 人（政令市を除く手帳所持者から抽出）
 - ③精神障害者： 400 人（政令市を除く手帳所持者から抽出）
 - ④発達障害者： 400 人（精神医療センター受診者及び政令市を除く発達障害関係団体会員から抽出）
 - ⑤難病患者： 400 人（政令市を除く難病法に基づく特定医療費助成制度受給者から抽出）

2 調査期間

令和元年10月11日（金）から令和元年11月22日（金）まで

3 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
3,100通	1,464通	47.2%

<参考> 前回調査時の回収率：51.2%（1,281通/2,500通）

障害種別状況

障害種類	配布数	有効回収数	有効回収率
身体障害	1,500通	728通	48.5%
知的障害	400通	153通	38.3%
精神障害	400通	152通	38.0%
発達障害	400通	219通	54.8%
難病患者	400通	212通	53.0%
合計	3,100通	1,464通	47.2%

4 主な調査結果

○問21 生活の場所（持ち家、グループホーム等）について

回答	割合	割合（前回調査時）
持ち家（一戸建て）	67.8%	68.7%（1位）
民間賃貸住宅	9.1%	8.4%（2位）
持ち家（マンション）	5.4%	5.3%（3位）

○問25 障害福祉に関する情報の入手方法について

回答	割合	割合（前回調査時）
市町村役場に問い合わせる	31.9%	33.8%（1位）
主治医や医療機関の職員に聞いてみる	25.4%	23.5%（3位）
市町村の広報誌を見る	23.1%	24.6%（2位）

○問39 成年後見制度を知っているか

回答	割合	割合（前回調査時）
知っている	49.8%	49.2%
知らない	43.2%	43.9%

○問46 学校における教育や配慮に対する満足度について

回答	割合	割合（前回調査時）
満足している	31.1%	21.2%
どちらかといえば満足している	40.5%	45.2%
どちらかといえば不満である	16.2%	10.6%
不満である	5.4%	4.8%

○問55 情報の入手方法・入手場所について

回答	割合	割合（前回調査時）
テレビ	65.2%	71.5%（1位）
新聞	46.9%	48.8%（2位）
市町村広報	31.7%	34.8%（3位）

○問62 現在の街のバリアフリー化の満足度について

回答	割合	割合（前回調査時）
十分に進んだと思う	3.6%	3.2%
かなり進んだと思う	18.0%	17.1%
進んだが、さらにバリアフリー（ユニバーサルデザイン）化が必要だと思う	35.3%	43.0%
進んでいないと思う	21.7%	20.5%

○問65 収入や手当の有無について

回答	割合	割合（前回調査時）
年金	65.4%	61.0%（1位）
仕事による収入	29.2%	29.6%（2位）
手当	17.4%	21.2%（3位）

○問80 就労・就労定着に必要な配慮について

回答	割合	割合（前回調査時）
障害のことを理解する会社があること	48.2%	56.2%（1位）
職場の人たちが障害のことを理解すること	43.6%	51.6%（2位）
障害者の就労について、積極的に進める職場や地域が増えること	30.0%	37.2%（3位）

○問81 文化芸術活動の内容について

回答	割合	割合（前回調査時）
おこなっていない	71.0%	前回調査なし
音楽	8.6%	前回調査なし
絵画	3.8%	前回調査なし

○問87 差別や嫌な思いを受けた経験の有無について

回答	割合	割合（前回調査時）
ある	36.5%	41.1%
ない	54.3%	50.0%

○問97 災害時に不安に感じることにについて

回答	割合	割合（前回調査時）
避難所（避難場所）で必要な支援・医療が受けられるか心配である。	45.9%	45.7%（1位）
避難所（避難場所）が障害のある人に配慮されているかどうか心配である	42.1%	37.8%（2位）
災害に関する情報を入手できるかわからない	21.0%	26.0%（3位）

障害者基礎調査項目別回答集計

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
本人(自分自身:障害のある人(代筆を含む))	873	59.5%
本人(家族も同席)	127	8.7%
家族(本人が同席しない)	452	30.9%
その他	1	0.1%
無回答	11	0.8%
合計	1464	100.0%

問1-3 家族(記入者)

項目	回答者数	割合
親	262	58.0%
兄弟	20	4.4%
配偶者(パートナーを含む)	67	14.8%
子	77	17.0%
施設職員	4	0.9%
その他	10	2.2%
無回答	12	2.7%
合計	452	100.0%

問2 あなた(障害のあるご本人:以下同じ)の性別はどちらですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
男	797	54.5%
女	654	44.7%
答えたくない	8	0.5%
無回答	5	0.3%
合計	1464	100.0%

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(令和元年10月1日現在でお答えください。)

項目	回答者数	割合
0～5歳	17	1.2%
6～14歳	77	5.3%
15～17歳	27	1.8%
18～19歳	22	1.5%
20～29歳	153	10.5%
30～39歳	107	7.3%
40～49歳	160	10.9%
50～59歳	156	10.7%
60～69歳	189	12.9%
70～79歳	305	20.8%
80歳以上	243	16.6%
無回答	8	0.5%
合計	1464	100.0%

問4 あなたの障害は次のうちどれですか。障害が複数ある場合は、ご自分で主になる障害と考えているものをお選びください。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
身体障害	664	45.3%
知的障害	148	10.1%
精神障害	143	9.8%
発達障害	194	13.3%
難病	213	14.5%
高次脳機能障害	14	1.0%
その他	37	2.5%
無回答	51	3.5%
合計	1464	100.0%

問4その他の内容

項目	人数
難聴	7
心臓機能障害	5
腎臓機能障害	4
聴覚障害	3
脳梗塞	2
LD	1
カニ便性肺炎	1
ダウン症	1
パーキンソン病	1
ミキサ食 舌ガンで	1
音声	1
強度行動障害	1
言語障害	1
視力	1
上肢障害4級	1
人工関節	1
人工弁置換	1
腎不全	1
多系統萎縮症	1
特定医療費助成制度受給者	1

問5 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。またお持ちの場合、障害等級は何級ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1級	251	17.1%
2級	149	10.2%
3級	194	13.3%
4級	166	11.3%
5級	30	2.0%
6級	32	2.2%
もっていない	592	40.5%
無回答	50	3.4%
合計	1464	100.0%

問6 問5で「1. 1級」「2. 2級」「3. 3級」「4. 4級」「5. 5級」「6. 6級」のいずれかを選択した方にお聞きします。

身体障害は次のうちどれですか。2つ以上障害のある方は、ご自分で主になる障害と考えているものをお選びください。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
視覚障害	43	5.2%
聴覚・平衡機能障害	62	7.5%
音声・言語・そしゃく機能障害	37	4.5%
上肢障害	50	6.1%
下肢障害	177	21.6%
体幹機能障害	97	11.8%
心臓機能障害	143	17.4%
じん臓機能障害	71	8.6%
呼吸器機能障害	14	1.7%
ぼうこう・直腸機能障害	33	4.0%
小腸機能障害	4	0.5%
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	2	0.2%
肝臓機能障害	3	0.4%
無回答	86	10.5%
合計	822	100.0%

問7 あなたは、療育手帳をお持ちですか。またお持ちの場合、障害等級は何度ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
重度(A)	151	10.3%
中度(B)	70	4.8%
軽度(C)	107	7.3%
もっていない	901	61.5%
無回答	235	16.1%
合計	1464	100.0%

問8 問7で「1. 重度」「2. 中度」「3. 軽度」のいずれかを選択した方にお聞きします。他の障害や疾病はありますか。あれば、次から選んでください。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
てんかん	51	15.5%
発達障害(自閉症、注意欠陥/多動性障害、学習障害、自閉スペクトラム症、注意欠陥症、学習症など)	183	55.8%
ダウン症	10	3.0%
脳性マヒ	24	7.3%
その他	36	11.0%
なし	48	14.6%
無回答	16	4.9%
合計	368	

問9 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。またお持ちの場合、障害等級は何級ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1級	47	3.2%
2級	140	9.6%
3級	78	5.3%
もっていない	967	66.1%
無回答	232	15.8%
合計	1464	100.0%

問10 問4で「3. 精神障害」を選択した方にお聞きします。主な病名は、次のうちどれですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
器質性精神障害(認知症、高次脳機能障害、脳の疾患・損傷によるものなど)	4	2.8%
精神作用物質使用による精神及び行動の障害(アルコール依存症、覚せい剤依存症など)	0	0.0%
統合失調症、妄想性障害	54	37.7%
気分(感情)障害(そう病、そううつ病、うつ病など)	42	29.4%
神経症性障害(強迫性障害、パニック障害など)	5	3.5%
生理的障害等(摂食障害、非器質性睡眠障害、解離性障害)	1	0.7%
成人のパーソナリティ及び行動障害	1	0.7%
心理的発達の障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害)	14	9.8%
小児(児童)期・青年期に通常発症する行動・情緒障害(注意欠陥/多動性障害など)	0	0.0%
てんかん	9	6.3%
その他	3	2.1%
無回答	10	7.0%
合計	143	100.0%

問11 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にお聞きします。

手帳を取得した(交付された)のは何歳の時ですか。

項目	回答者数	割合
身体障害者手帳	905	61.8%
療育手帳	393	26.8%
精神障害者手帳	299	20.4%
無回答	776	53.0%
合計	2373	

問11歳 手帳を取得した年齢

項目	回答者数	割合
0～5歳	206	14.1%
6～14歳	149	10.2%
15～17歳	70	4.8%
18～19歳	35	2.4%
20～29歳	93	6.4%
30～39歳	72	4.9%
40～49歳	97	6.6%
50～59歳	123	8.4%
60～69歳	167	11.4%
70～79歳	168	11.5%
80歳以上	73	5.0%
無回答	378	25.8%
合計	1631	

問12 問4で「4. 発達障害」を選択した方にお聞きします。発達障害の種類は、次のうちどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
自閉症	95	49.0%
アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害	77	39.7%
学習障害	18	9.3%
注意欠陥/多動性障害(ADHD)	42	21.6%
その他	3	1.5%
無回答	9	4.6%
合計	244	

問13 問4で「5. 難病」を選択した方にお聞きします。難病の種類は、次のうちどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
ベーチェット病	2	0.9%
多発性硬化症(MS)	4	1.9%
重症筋無力症	4	1.9%
全身性エリテマトーデス(SLE)	14	6.6%
サルコイドーシス	5	2.3%
強皮症	7	3.3%
多発性筋炎	1	0.5%
特発性血小板減少性紫斑病	4	1.9%
顕微鏡的多発血管炎(結節性動脈周囲炎)	3	1.4%
潰瘍性大腸炎	33	15.5%
脊髄小脳変性症	12	5.6%
クローン病	12	5.6%
パーキンソン病関連疾患	26	12.2%
後縦靭帯骨化症	5	2.3%
モヤモヤ病	3	1.4%
特発性拡張型(うつけつ型)心筋症	2	0.9%
成長ホルモン分泌亢進症	1	0.5%
下垂体機能低下症	5	2.3%
その他	68	31.9%
無回答	11	5.2%
合計	222	

問14 問4で「6. 高次脳機能障害」を選択した方にお聞きします。高次脳機能障害と診断された主な症状はどれですか。

項目	回答者数	割合
記憶障害	2	14.3%
注意障害	1	7.1%
遂行機能障害	0	0.0%
社会的動向障害	1	7.1%
失語	2	14.3%
失行・失認	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	8	57.2%
合計	14	100.0%

問15 問4で「6. 高次脳機能障害」を選択した方にお聞きします。高次脳機能障害の主な原因は何ですか。

項目	回答者数	割合
脳梗塞	2	14.3%
脳出血	1	7.1%
くも膜下出血	2	14.3%
交通事故	2	14.3%
その他の事故	1	7.1%
脳炎	0	0.0%
低酸素脳症	0	0.0%
原因不明	1	7.1%
その他	1	7.1%
無回答	4	28.7%
合計	14	100.0%

問16 あなたは、障害者総合支援法（「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」）による障害支援区分の認定を受けていますか。また、認定を受けている場合、認定区分は次のうちどれですか。（1つだけ選択）

項目	回答者数	割合
非該当	125	8.5%
障害支援区分1	10	0.7%
障害支援区分2	22	1.5%
障害支援区分3	23	1.6%
障害支援区分4	36	2.5%
障害支援区分5	19	1.3%
障害支援区分6	28	1.9%
申請したが結果がまだ出ていない	1	0.1%
認定を受けていない（申請をしていない）	756	51.6%
無回答	444	30.3%
合計	1464	100.0%

問17 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。また、受けている場合、認定の結果は次のうちどれですか。（1つだけ選択）

項目	回答者数	割合
非該当	181	12.4%
要支援1	47	3.2%
要支援2	54	3.7%
要介護1	41	2.8%
要介護2	46	3.1%
要介護3	40	2.7%
要介護4	36	2.5%
要介護5	37	2.5%
申請したが結果がまだ出ていない	5	0.3%
認定を受けていない（申請をしていない）	762	52.1%
無回答	215	14.7%
合計	1464	100.0%

問18 あなたは、乳幼児期に行われた乳幼児健康診査で、身体や精神発達等に関し、保健指導等を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、いつ指導を受けましたか。（1つだけ選択）

項目	回答者数	割合
受けたことがない	610	41.6%
知らない・わからない	263	18.0%
1か月ごろに受けた	16	1.1%
3～4か月ごろに受けた	21	1.4%
6～10か月	25	1.7%
1歳6か月	93	6.4%
3歳	53	3.6%
5歳	6	0.4%
その他	29	2.0%
無回答	348	23.8%
合計	1464	100.0%

問19 あなたは、どなたと暮らしていますか。（1つだけ選択）

項目	回答者数	割合
家族	1176	80.3%
一人	137	9.4%
その他	123	8.4%
無回答	28	1.9%
合計	1464	100.0%

問20 いっしょに住んでいる方は、どなたですか。（いくつでも選択）

項目	回答者数	割合
父親	414	28.3%
母親	488	33.3%
兄弟	263	18.0%
夫または妻	590	40.3%
子	368	25.1%
その他	210	14.3%
無回答	172	11.7%
合計	2505	

問21 あなたは、現在、どこで生活していますか。（1つだけ選択）

項目	回答者数	割合
持ち家（一戸建て）	993	67.8%
持ち家（マンション）	79	5.4%
公営賃貸住宅（市営・県営・URなど）	53	3.6%
民間賃貸住宅	133	9.1%
会社の寮・社宅など	10	0.7%
共同生活援助事業所（グループホーム）	26	1.8%
福祉ホーム	5	0.3%
障害児入所施設	4	0.3%
障害者支援施設（入所施設）	12	0.8%
高齢者の保健・福祉施設（介護老人保健施設等）	50	3.4%
精神科病院（入院中）	9	0.6%
その他の病院（入院中）	11	0.8%
その他	22	1.5%
無回答	57	3.9%
合計	1464	100.0%

問22 問21で「9. 障害者支援施設」「10. 高齢者の保健・福祉施設(介護老人保健施設等)」「11. 精神科病院(入院中)」を選択した方にお聞きします。
今生活されている施設・病院で、継続して何年間生活していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1年未満	14	19.7%
1年以上3年未満	17	24.0%
3年以上5年未満	9	12.7%
5年以上10年未満	13	18.3%
10年以上20年未満	10	14.1%
20年以上30年未満	2	2.8%
30年以上	3	4.2%
無回答	3	4.2%
合計	71	100.0%

問23 問21で「9. 障害者支援施設」「10. 高齢者の保健・福祉施設(介護老人保健施設等)」「11. 精神科病院(入院中)」を選択した方にお聞きします。
将来どのような生活をしたいですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
一人で暮らしたい	3	4.2%
家族と暮らしたい	14	19.7%
グループホームで暮らしたい	2	2.8%
今生活している施設・病院で暮らしたい	34	47.9%
今とは別の施設・病院で暮らしたい	1	1.4%
その他	7	9.9%
無回答	10	14.1%
合計	71	100.0%

問25 あなたは、障害福祉に関する情報を、いつもどこからお知りになりますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
市町村役場に問い合わせる	467	31.9%
県の窓口(保健所、福祉相談センターなど)に問い合わせる	65	4.4%
相談支援事業所に問い合わせる	169	11.5%
市町村の広報誌を見る	338	23.1%
県の発行する「福祉ガイドブック」などの冊子やパンフレットを見	103	7.0%
広報あいちを見る	50	3.4%
市町村のホームページを見る	99	6.8%
県のホームページを見る	49	3.3%
ホームヘルパーやボランティアなど介助を頼んでいる人や障害者団体に聞いてみる	106	7.2%
主治医や医療機関の職員に聞いてみる	372	25.4%
利用している施設の職員に聞いてみる	194	13.3%
家族や友人に聞いてみる	255	17.4%
その他	72	4.9%
聞いたことがない	167	11.4%
わからない	124	8.5%
無回答	66	4.5%
合計	2696	

問26 あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用している	425	29.0%
利用していない	880	60.1%
利用していないが、介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用している	79	5.4%
無回答	80	5.5%
合計	1464	100.0%

問27 問26で「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。
サービスを利用する時、サービス利用計画(ケアプラン)は、どなたが作成しましたか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用者本人(ご自身)または、その家族	74	17.4%
相談支援事業所の職員	315	74.1%
その他	10	2.4%
作成しなかった	3	0.7%
わからない	6	1.4%
無回答	17	4.0%
合計	425	100.0%

問28 問26で「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。
どのようなサービスを利用していますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	63	14.8%
重度訪問介護	7	1.6%
同行援護	8	1.9%
行動援護	34	8.0%
重度障害者等包括支援	16	3.8%
短期入所(ショートステイ)	84	19.8%
療養介護	19	4.5%
生活介護	68	16.0%
施設入所支援(障害者支援施設)	25	5.9%
自立生活援助	16	3.8%
グループホーム(共同生活援助事業所)	31	7.3%
自立訓練(機能訓練)	26	6.1%
自立訓練(生活訓練)	9	2.1%
就労移行支援	21	4.9%
就労継続支援(A型)	15	3.5%
就労継続支援(B型)	50	11.8%
就労定着支援	15	3.5%
児童発達支援・放課後等デイサービス	84	19.8%
その他	46	10.8%
無回答	25	5.9%
合計	662	

問29 問26で「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。
その利用しているサービスに満足していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
満足している	162	38.1%
どちらかといえば満足している	189	44.5%
どちらかといえば不満である	40	9.4%
不満である	9	2.1%
無回答	25	5.9%
合計	425	100.0%

問31 問26で「2. 利用していない」を選択した方にお聞きします。
サービスを利用していない理由は何ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
制度を知らなかったから	113	12.8%
利用を希望したが、利用できなかったから	13	1.5%
利用する必要がないから	589	67.0%
その他	45	5.1%
無回答	120	13.6%
合計	880	100.0%

問32 問31で「2. 利用を希望したが、利用できなかったから」を選択した方にお聞きします。

その理由は何ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
市町村役場での利用手続きが難しかったから	1	7.70%
障害支援区分の認定の結果、利用対象でなかったから	3	23.05%
住んでいる近くに使いたいサービス事業所がなかったから	1	7.70%
サービス事業所をさがすことができなかったから	0	0.00%
サービス事業所との契約手続きが難しかったから	0	0.00%
サービス事業所に利用を断られたから	3	23.05%
利用料の負担が大きいから	2	15.40%
その他	2	15.40%
無回答	1	7.70%
合計	13	100.00%

問33 あなたは今後(おおむね3年以内に)、障害福祉サービスを利用しますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用すると思う	352	24.0%
利用しないと思う	376	25.7%
介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用すると思う	81	5.5%
わからない	471	32.2%
無回答	184	12.6%
合計	1464	100.0%

問34 問33で「1. 利用すると思う」を選択した方にお聞きします。どのようなサービスを利用すると思いますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	73	20.7%
重度訪問介護	10	2.8%
同行援護	21	6.0%
行動援護	31	8.8%
重度障害者等包括支援	11	3.1%
短期入所(ショートステイ)	90	25.6%
療養介護	13	3.7%
生活介護	62	17.6%
施設入所支援(障害者支援施設)	40	11.4%
自立生活援助	23	6.5%
グループホーム(共同生活援助事業所)	51	14.5%
自立訓練(機能訓練)	24	6.8%
自立訓練(生活訓練)	20	5.7%
就労移行支援	23	6.5%
就労継続支援(A型)	25	7.1%
就労継続支援(B型)	44	12.5%
就労定着支援	24	6.8%
児童発達支援・放課後等デイサービス	71	20.2%
その他	24	6.8%
無回答	7	2.0%
合計	687	

問35 その他の福祉サービスについてお聞きします。今後(おおむね3年以内)、あなたが利用したい福祉サービスは何ですか。下記からお選びください。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
相談支援事業	380	26.0%
意思疎通支援事業	35	2.4%
日常生活用具給付等事業	117	8.0%
移動支援事業	199	13.6%
地域活動支援センター機能強化事業	115	7.9%
成年後見制度	49	3.3%
その他	32	2.2%
特にない	560	38.3%
無回答	292	19.9%
合計	1779	

問36 あなたは、困ったことがあったとき、どなたに相談しましたか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
親	494	33.7%
親以外	167	11.4%
同居以外の家族や親族	301	20.6%
近所の人	45	3.1%
学校の先生	91	6.2%
職場の上司や同僚	83	5.7%
友人や知人	231	15.8%
市町村役場の職員	194	13.3%
サービス事業所の職員	213	14.5%
相談支援事業所の職員	199	13.6%
県福祉相談センターの職員	41	2.8%
保健所の職員	40	2.7%
障害者団体の人	50	3.4%
身体・知的障害者相談員	33	2.3%
発達障害者支援センターの職員	25	1.7%
ハローワークの職員	25	1.7%
障害者110番	4	0.3%
いのちの電話	8	0.5%
医療ソーシャルワーカー	83	5.7%
その他	194	13.3%
無回答	171	11.7%
合計	2692	

問36その他の内容

具体的な相談者	数
子	5
PSW	1
インターネット	2
カウンセラー(病院の)	1
かかりつけ医師	5
グループホームの為	1
ケアプランセンター	1
ケアマネージャー	3
ケアマネジャー	1
ケース・ワーカー	1
ゲームメーカー、パソコンメーカーHP	1
スクールカウンセラー	2
つぼみの会	1
ドクター、心理士	1
パートナー	1
パートナー、家族	1
リハビリ担当の先生	1
医師	7
医師、心理士	1
医者、カウンセラー	1
家族	11
眼科医の先生	1
勤務している会社の保健師	1
妻	7
妻 子供	1
姉	1
子ども110番	1
子供	1
施設職員	5
主治医	9
主治医、心理カウンセラー	1
主治医、心理士	1
主治医、保育園の担任	1
主治医、訪問看護	1
主人	4
心の相談電話	1
心療内科の先生	1
精神科医	1
息子、兄、姉	1
弟	1
弟夫婦	1
同居の家族	2
同居の子供	1
同居の夫	1
同居の娘	1
同居家族(妻)	1
特養	1
認知症家族会、スタッフなど	1
配偶者	6
病院	3
病院のカウンセラー	1
病院のカウンセラー医師とカウンセラー	1
病院の医師・スタッフ	1
病院の主治医	1
夫	3
法務局、消費者相談、医者、看護師	1
訪問看護の人	1
牧師、民生委員	1
娘	1
療育の先生	1
臨床心理士	1
親の事情を知っている方	1
福祉相談センターの職員	1
総計	122

問37 あなたは、困ったことがあったとき、どのような方法で相談しましたか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
直接会って	1047	71.5%
電話	469	32.0%
手紙	19	1.3%
ファックス	10	0.7%
電子メール	65	4.4%
SNS	48	3.3%
その他	75	5.1%
無回答	197	13.5%
合計	1930	

問37その他の内容

相談方法	回答者数
メール	1
医師	1
妻に聞いて来てもらう	1
親が直接あう	1
診察	1
電話の問い合わせを変わってもらえず、がまんする	1
病院の先生の勧めで、大学病院へ	1
母からメールで	1
話し合う	1
電話と直接会って相談。	1
総計	14

問38 あなたは、相談先(市町村役場・相談支援事業所など)に対して、こうしてほしいという要望はありますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
親身になって聴いてほしい	537	36.7%
アドバイスをしてほしい	606	41.4%
適切な機関を紹介してほしい	450	30.7%
プライバシーを確保してほしい	181	12.4%
事実を調査してほしい	110	7.5%
その他	133	9.1%
無回答	316	21.6%
合計	2333	

問39 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
知っている	728	49.8%
知らない	633	43.2%
無回答	103	7.0%
合計	1464	100.0%

問40 あなたは、現在、成年後見制度を利用していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用している	35	2.4%
利用していない	1333	91.0%
無回答	96	6.6%
合計	1464	100.0%

問41 あなたは、今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用したい	115	7.9%
利用したいが、制度がよくわからないので、利用しない	79	5.4%
利用しない(又は利用する必要がない)	545	37.2%
無回答	725	49.5%
合計	1464	100.0%

問42 あなたは、日常生活自立支援事業を利用していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
利用している	67	4.6%
利用していない	1259	86.0%
無回答	138	9.4%
合計	1464	100.0%

問43 あなたは、現在、学校等に通学していますか。また、通学している学校は次のうちどれですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
幼稚園・保育園	13	0.9%
小学校	44	3.0%
中学校	19	1.3%
高等学校	15	1.0%
特別支援学校(盲)	0	0.0%
特別支援学校(聾)	2	0.1%
特別支援学校(知的障害)	25	1.7%
特別支援学校(肢体不自由)	6	0.4%
特別支援学校(病弱)	1	0.1%
専門学校	3	0.2%
大学	13	0.9%
その他各種学校	7	0.5%
学校等に通学していない	939	64.1%
無回答	377	25.8%
合計	1464	100.0%

問44 問43で「2. 小学校」「3. 中学校」を選択した方にお聞きします。
あなたは、どのような「学びの場」で学習していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
通常の学級	15	23.8%
通常の学級と通級による指導	7	11.1%
特別支援学級	38	60.3%
無回答	3	4.8%
合計	63	100.0%

問45 学校等に通学している方にお聞きします。
あなたは、放課後や夏休み等において、日中はどのように過ごしていますか。

項目	回答者数	割合
主に一人で家にいる	29	19.6%
主に家族と家にいる	100	67.6%
放課後児童クラブ(学童保育)	5	3.4%
福祉サービスを利用	60	40.5%
児童福祉施設にいる	3	2.0%
その他	21	14.2%
無回答	7	4.7%
合計	225	

問46 学校等に通学している方にお聞きします。
あなたは、通学している学校に対し、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮などの点で満足していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
満足している	46	31.1%
どちらかといえば満足している	60	40.5%
どちらかといえば不満である	24	16.2%
不満である	8	5.4%
無回答	10	6.8%
合計	148	100.0%

問48 病院や入所型の保健・福祉施設ではなく、ご自宅でお暮らしの方にお聞きします。
あなたは、ご自宅で、医療的ケアをおこなっていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
おこなっている	260	17.8%
おこなっていない	993	67.8%
無回答	211	14.4%
合計	1464	100.0%

問49 問45で「1. おこなっている」を選択した方にお聞きします。
どのようなケアをおこなっていますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
痰の吸引	15	5.8%
酸素吸入	10	3.8%
気管切開の手当(カニューレ交換・消毒等)	6	2.3%
人工呼吸器管理	8	3.1%
導尿	14	5.4%
床ずれ(褥瘡)の手当	4	1.5%
排便、浣腸、洗腸などの排便管理	35	13.5%
てんかん発作時の処置(座薬の投与)	7	2.7%
定期的な薬の服用	183	70.4%
経管栄養	19	7.3%
定期的な体位変換	12	4.6%
その他	43	16.5%
無回答	12	4.6%
合計	368	

問50 問49で「10. 経管栄養」を選択した方にお聞きします。
その方法は、次のうちどれですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
鼻から	6	31.6%
胃ろう	9	47.3%
腸ろう	1	5.3%
その他	3	15.8%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

問51 あなたは、主な障害の主治医(医療機関)に定期的に通院していますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1週間に2回以上	70	4.8%
1週間に1回	36	2.5%
2週間に1回	82	5.6%
1か月に1回	414	28.2%
2～3か月に1回	373	25.5%
1年に1～2回	167	11.4%
受診していない	180	12.3%
無回答	142	9.7%
合計	1464	100.0%

問52 あなたは、住まいの近くに、日常的なかかりつけ医療機関はありますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
ある	1128	77.0%
ない	209	14.3%
無回答	127	8.7%
合計	1464	100.0%

問53 問52で「2. ない」を選択した方にお聞きします。その理由は、何ですか(1つ選択)

項目	回答者数	割合
近くに開業以外ないから	41	19.6%
必要性を感じないから	77	36.9%
面倒だから	13	6.2%
その他	59	28.2%
無回答	19	9.1%
合計	209	100.0%

問54 あなたは、定期的に健康診断や歯科健診を受けていますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
基本健診を受けている	884	60.4%
がん健診を受けている	162	11.1%
歯科健診を受けている	596	40.7%
いずれも受けていない	249	17.0%
無回答	118	8.1%
合計	2009	

問55 あなたは、生活していく上で必要な情報をどのように入手していますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
新聞	687	46.9%
テレビ	955	65.2%
ラジオ	218	14.9%
雑誌・書籍	258	17.6%
市町村広報	464	31.7%
市町村の発行する チラシ等の啓発物	226	15.4%
ホームページ (インターネット)	376	25.7%
市町村職員に尋ねる	91	6.2%
ホームヘルパー 施設職員から	109	7.4%
親族・友人から	463	31.6%
点字の広報物	11	0.8%
音声(SP)コード付き広報物	5	0.3%
カセットテープ又は デジ規格による音声広報物	7	0.5%
障害者団体から	77	5.3%
SNS	131	8.9%
その他	47	3.2%
合計	4125	

問55 その他の内容

情報入手方法	回答者数
インターネット	2
ケース・ワーカーに聞く。	1
コミュニケーション全不可ではないがサインかうなずき	1
医師	1
医師、看護師	1
家族	1
家族から入手	1
介護予防通所リハビリテーション	1
学校	2
妻	1
子供	1
施設	1
施設の職員が頼り	1
主治医	1
主治医に聞く	1
親	1
親から聞く	1
親の判断	1
同じ視覚障害を持つ知人	1
入所施設	1
配偶者	1
病院	1
福祉センター担当者	1
総計	28

問56 問6で「1. 視覚障害」「2. 聴覚・平衡機能障害」を選択した方のうち、盲ろう者の方にお聞きします。あなたが利用している情報やコミュニケーションの支援策はどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
点字広報や声の広報	7	6.7%
盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣	2	1.9%
テレビ(文字多重放送)の手話通訳	16	15.2%
字幕放送	28	26.7%
手話通訳者の派遣	7	6.7%
要約筆記者の派遣	1	1.0%
その他	8	7.6%
利用していない(必要がない)	36	34.3%
無回答	23	21.9%
合計	128	

問57 あなたは、情報のバリアフリー化に関してどのような施策を望みますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
啓発物の音声コード化の推進	34	2.3%
音声による広報の充実	81	5.5%
点字による情報の充実	18	1.2%
手話通訳の充実	32	2.2%
ITバリアフリー環境の充実	132	9.0%
字幕放送の充実	100	6.8%
解説放送の充実	58	4.0%
手話放送の充実	21	1.4%
電光掲示による文字情報の充実	71	4.8%
その他	27	1.8%
(必要性が小さいため)特になし	255	17.4%
わからない	425	29.0%
無回答	490	33.5%
合計	1744	

問58 問6で「1. 視覚障害」を選択した方にお聞きします。
あなたは、どのような媒体での情報提供を希望しますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
録音物(カセットテープ)	8	18.6%
録音物(デイジー規格CD)	9	20.9%
点字版	0	0.0%
音声(SP)コード添付印刷物	8	18.6%
テキストデータ(パソコンで利用)	3	7.0%
その他	8	18.6%
無回答	17	39.5%
合計	53	

問59 問6で「2. 聴覚・平衡機能障害」を選択した方にお聞きします。
あなたのコミュニケーション手段を教えてください。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
筆談(要約筆記)	22	35.5%
手話(手話通訳)	11	17.7%
口話(読話)	10	16.1%
補聴器や人工内耳	39	62.9%
その他	2	3.2%
無回答	9	14.5%
合計	93	

問60 問6で「1. 視覚障害」「2. 聴覚・平衡機能障害」を選択した方のうち、盲ろう者の方にお聞きします。
あなたのコミュニケーション手段を教えてください。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
筆談(要約筆記)	11	10.5%
触手話・手話(手話通訳)	6	5.7%
指点字・掌書き	1	1.0%
補聴器や人工内耳	21	20.0%
録音物(カセットテープ)	3	2.9%
録音物(デイジー規格CD)	3	2.9%
点字版	0	0.0%
音声(SP)コード添付印刷物	2	1.9%
テキストデータ(パソコンで利用)	1	1.0%
その他	5	4.8%
無回答	66	62.9%
合計	119	

問62 あなたは、街(駅・商業施設など)のバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化の現状についてどう思いますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
十分に進んだと思う	52	3.6%
かなり進んだと思う	263	18.0%
進んだが、さらにバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化が必要だと思う	518	35.3%
進んでいないと思う	317	21.7%
その他	101	6.9%
無回答	213	14.5%
合計	1464	100.0%

問63 あなたは、歩道などの歩行空間のバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化の現状についてどう思いますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
十分に進んだと思う	31	2.1%
かなり進んだと思う	191	13.0%
進んだが、さらにバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化が必要だと思う	500	34.2%
進んでいないと思う	443	30.3%
その他	92	6.3%
無回答	207	14.1%
合計	1464	100.0%

問64 あなたは街のバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化を進めるために、何か取組みや活動をしていますか(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
団体やNPO法人の一員としても、個人としても取り組んでいる	4	0.3%
団体やNPO法人の一員として取り組んでいる	17	1.2%
グループ(任意の集まり)として取り組んでいる	10	0.7%
個人で取り組んでいる	17	1.2%
取り組んでいない	1137	77.6%
その他	31	2.1%
無回答	248	16.9%
合計	1464	100.0%

問65 あなたは、次のような収入や手当等がありますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
仕事による収入	427	29.2%
不動産収入	44	3.0%
年金	958	65.4%
手当	255	17.4%
仕送り	15	1.0%
生活保護	24	1.6%
その他	32	2.2%
収入なし	131	8.9%
無回答	50	3.4%
合計	1936	

問66 問65で「3. 年金」を選択した方にお聞きします。
年金の種類はどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
障害基礎年金	325	33.9%
障害厚生年金	60	6.3%
国民年金	302	31.5%
厚生年金(共済年金)	398	41.5%
特別障害給付金	22	2.3%
その他	34	3.5%
無回答	20	2.1%
合計	1161	

問67 問65で「3. 年金」を選択されなかった方にお聞きします。
年金を受け取れない理由は何ですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
年齢要件を満たしていない	213	42.1%
障害等級要件を満たしていない	59	11.7%
年金の支払いをしておらず受け取れない	17	3.4%
受け取り方が分からない	20	4.0%
その他	37	7.3%
無回答	192	37.9%
合計	538	

問68 問65で「4. 手当」を選択した方にお聞きます。
 手当の種類はどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
在宅重度障害者手当	57	22.4%
特別障害者手当	66	25.9%
障害児福祉手当	45	17.6%
経過的福祉手当	4	1.6%
特別児童扶養手当	54	21.2%
その他	37	14.5%
無回答	26	10.2%
合計	289	

問69 あなたの年間のすべての収入(年金、手当を含む。税込み)はいくらですか。
 (1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
40万円未満	170	11.6%
40万円～80万円未満	223	15.2%
80万円～150万円未満	357	24.4%
150万円～200万円未満	157	10.7%
200万円～300万円未満	196	13.4%
300万円～400万円未満	63	4.3%
400万円～500万円未満	42	2.9%
500万円～600万円未満	29	2.0%
600万円～1000万円未満	37	2.5%
1000万円以上	7	0.5%
わからない	65	4.4%
無回答	118	8.1%
合計	1464	100.0%

問70 あなたは、家族の生計中心者(最も収入の多い方)ですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
生計中心者である	513	35.0%
生計中心者ではない	864	59.1%
無回答	87	5.9%
合計	1464	100.0%

問71 問70で「2. 生計中心者ではない」を選択した方にお聞きます。
 家族の生計中心者の収入の種類は次のうちどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
仕事による収入	532	61.6%
不動産収入	45	5.2%
年金	353	40.9%
手当(特別障害者手当、在宅重度障害者手当など)	35	4.1%
生活保護	8	0.9%
その他	18	2.1%
無回答	16	1.9%
合計	1007	

問72 問70で「2. 生計中心者ではない」を選択した方にお聞きます。
 家族の生計中心者の年間の収入(年金、手当を含む。税込み)はいくらですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
80万円未満	29	3.4%
80万円～150万円未満	68	7.9%
150万円～200万円未満	85	9.8%
200万円～300万円未満	132	15.3%
300万円～400万円未満	105	12.2%
400万円～500万円未満	66	7.6%
500万円～600万円未満	64	7.4%
600万円～1000万円未満	103	11.9%
1000万円以上	25	2.9%
わからない	122	14.1%
無回答	65	7.5%
合計	864	100.0%

問73 あなたは、これまでに仕事をしたことがありますか。(障害等になる前の仕事は除きます。)(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
仕事をしたことがある	816	55.7%
仕事をしたことがない	541	37.0%
無回答	107	7.3%
合計	1464	100.0%

問74 あなたは、現在、仕事をしていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
仕事をしている	468	32.0%
仕事をしていない	864	59.0%
無回答	132	9.0%
合計	1464	100.0%

問75 問74で「1. 仕事をしている」を選択した方にお聞きます。
 今の仕事に就いて、どのくらい経ちましたか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1か月未満	7	1.5%
1か月～3か月未満	7	1.5%
3か月～6か月未満	11	2.4%
6か月～1年未満	28	6.0%
1年～3年未満	72	15.4%
3年～5年未満	62	13.2%
5年～10年未満	63	13.5%
10年～20年未満	78	16.7%
20年以上	124	26.4%
無回答	16	3.4%
合計	468	100.0%

問76 問74で「1. 仕事をしている」を選択した方にお聞きします。
どのような仕事をしていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
会社などに勤めている(正社員)	160	34.2%
会社などに勤めている(パート、アルバイト、派遣社員)	126	26.9%
自営業	45	9.6%
家の仕事(家業)の手伝い	13	2.8%
家で内職	3	0.6%
福祉サービス事業所(就労継続支援A型)で働いている	20	4.3%
就労継続支援B型で働いている	54	11.5%
生活介護を行っている	16	3.4%
その他	11	2.4%
無回答	20	4.3%
合計	468	100.0%

問77 問74で「1. 仕事をしている」を選択した方にお聞きします。
その仕事をどのようにして見つけましたか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	79	16.9%
家族、友人、知人の紹介	69	14.7%
学校の紹介	90	19.2%
福祉サービス事業所(就労移行支援・就労継続支援など)の紹介	42	9.0%
就労支援機関(障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、職業能力開発校)の紹介	38	8.1%
病院の紹介	5	1.1%
自分で探した	113	24.1%
その他	53	11.3%
無回答	26	5.6%
合計	515	

問78 問74で「1. 仕事をしている」を選択した方にお聞きします。
仕事の収入は、1か月当たり税金などを含めていくらですか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
5千円未満	24	5.1%
5千円～1万円未満	29	6.2%
1万円～3万円未満	36	7.7%
3万円～10万円未満	94	20.1%
10万円～20万円未満	131	28.0%
20万円以上	125	26.7%
無回答	29	6.2%
合計	468	100.0%

問79 今までに離職されたことがある方にお聞きします。
就労が長続きしない理由は何ですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
体力的に続かないため	191	13.0%
体調に波があり、いつも同じようには働けないため	137	9.4%
職場の上司や同僚から辞めるように言われたため(職場に理解がないため)	71	4.8%
職場に迷惑をかけているような気がするため(上司や同僚は何も言わないが)	67	4.6%
仕事に分からない、うまくいかないため	38	2.6%
職場の上司や同僚と仲良くやれないため	72	4.9%
給料が低いため	43	2.9%
キャリアアップの為	21	1.4%
学校に行くため	17	1.2%
その他	212	14.5%
無回答	862	58.9%
合計	1731	

問80 会社などで働く、又は働き続けるためには、何が、どのような配慮が必要だと思いますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
会社などで働くための支援(指導や訓練など)を増やすこと	349	23.8%
障害のことを理解する会社があること	705	48.2%
職場に障害に応じた設備があること	352	24.0%
職場の人たちが障害のことを理解すること	639	43.6%
職場内で相談支援をする人がいること	376	25.7%
通勤する方法があること	304	20.8%
仕事や職場に慣れるまで、その人の働きやすい環境に整備して、会社とのやりとりをしてくれる人がいること	369	25.2%
就職した後も、困ったときは助けてもらえること	437	29.8%
職場以外での、毎日の生活で困ったときは助けてもらえること	221	15.1%
障害者の就労について、積極的に進める職場や地域が増えること	439	30.0%
通勤の手助け(介助等)があること	207	14.1%
その他	75	5.1%
無回答	466	31.8%
合計	4939	

問81 文化芸術活動を行っている方にお聞きします。
あなたは、文化芸術活動として、どのようなことをおこなっていますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
絵画	55	3.8%
音楽	126	8.6%
演劇	7	0.5%
書道	21	1.4%
手芸	42	2.9%
陶芸	5	0.3%
文芸	20	1.4%
その他	60	4.1%
おこなっていない	1040	71.0%
無回答	171	11.7%
合計	1547	

問82 文化芸術活動についてお聞きします。
あなたは、どれくらいの頻度で、文化芸術活動をおこなっていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1週間に2回以上	65	4.4%
1週間に1回	66	4.5%
2週間に1回	54	3.7%
1か月に1回	40	2.7%
2～3か月に1回	29	2.0%
無回答	1210	82.7%
合計	1464	100.0%

問83 あなたは、文化芸術活動として、作品展や発表会に出たいと思いますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
出たことがある	192	13.1%
出たいと思うが、出たことがない	71	4.8%
出たいと思わないため、出たことがない	682	46.6%
無回答	519	35.5%
合計	1464	100.0%

問84 運動・スポーツについてお聞きます。
あなたは、どのくらいの頻度で、運動やスポーツをおこなっていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
1週間に2回以上	215	14.7%
1週間に1回	113	7.7%
2週間に1回	33	2.3%
1か月に1回	34	2.3%
2～3か月に1回	19	1.3%
おこなっていない	877	59.9%
無回答	173	11.8%
合計	1464	100.0%

問85 問84で「6. おこなっていない」を選択した方にお聞きます。
運動やスポーツをおこなわない理由は、次のうちどれですか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
仲間(競技者)が近くにいない	58	6.6%
指導者がいない	41	4.7%
運動・スポーツできる場が近くにない	56	6.4%
興味がない・したくない	257	29.3%
身体等の理由で行うことができない	429	48.9%
その他	105	12.0%
無回答	38	4.3%
合計	984	

問87 あなたは、これまでに、障害があるために差別を受けたり、嫌な思いをしたことはありますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
ある	534	36.5%
ない	795	54.3%
無回答	135	9.2%
合計	1464	100.0%

問88 問87で「1. ある」を選択した方にお聞きます。
それは、次のうちどのような場所で感じましたか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
学校	208	39.0%
仕事場(施設・事業所など)	142	26.6%
仕事をさがすとき	80	15.0%
外出先	194	36.3%
余暇を楽しむとき	86	16.1%
バスや電車などの公共交通機関	99	18.5%
病院などの医療機関	111	20.8%
住んでいる地域	104	19.5%
その他	44	8.2%
無回答	12	2.2%
合計	1080	

問91 あなたは、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)について、どの程度知っていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
よく知っている	34	2.3%
少しは知っている	149	10.2%
名前は聞いたことがある	191	13.0%
知らない	919	62.8%
無回答	171	11.7%
合計	1464	100.0%

問92 あなたは、これまでに虐待を受けた経験がありますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
ある	124	8.5%
ない	1175	80.2%
無回答	165	11.3%
合計	1464	100.0%

問93 問92で「1. ある」を選択した方にお聞きます。
それは、次のうちの種別に当てはまりますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
家族などの養護者による障害者虐待	63	50.8%
障害者福祉施設等の職員などによる障害者虐待	10	8.1%
障害者雇用する事業主などの使用者による障害者虐待	17	13.7%
学校・保育所などの先生等による障害者虐待	35	28.2%
医療機関などの職員などによる障害者虐待	10	8.1%
その他	21	16.9%
無回答	4	3.2%
合計	160	

問94 問92で「1. ある」を選択した方にお聞きます。
それは、次のうちの類型に当てはまりますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
身体的虐待	67	54.0%
性的虐待	12	9.7%
心理的虐待	80	64.5%
放棄・放置	20	16.1%
経済的虐待	10	8.1%
無回答	5	4.0%
合計	194	

問95 あなたは、ヘルプマークについて、どの程度知っていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
知っている	474	32.4%
知らない	505	34.4%
内容は知らないが名前は聞いたことがある、またはマークを見たことがある。	358	24.5%
無回答	127	8.7%
合計	1464	100.0%

問96 あなたは、ヘルプマークをもっていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
もっている	160	10.9%
もっていない	1182	80.8%
無回答	122	8.3%
合計	1464	100.0%

問97 あなたは、地震や台風などの災害のときに、どのようなことに心配や不安がありますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
災害に関する情報を入手できるかわからない	308	21.0%
どこに避難してよいかわからない	260	17.8%
避難するときに介助や支援をしてくれる人がいない	197	13.5%
避難所(避難場所)が障害のある人に配慮されているかどうか心配である	617	42.1%
避難所(避難場所)に必要な支援・医療が受けられるか心配である	672	45.9%
その他	165	11.3%
無回答	229	15.6%
合計	2448	

問97 その他の内容

項目	回答者数
薬の確保	3
トイレの数	2
わからない	2
心配していない	2
NHKを見たくない。	1
SNSが使用できるか	1
あまり不安はない	1
クスリ、精神安定剤や睡眠薬だけでも何とかしないと	1
でんき、水道	1
トイレが近くにあるか心配	1
どの程度の被害になりそうか早く知りたい	1
ひなん所での人間関係	1
ペットがいるから心配です	1
ペットをどうすればいいか	1
移動手段があるかどうか	1
一人で行動できない。	1
一人で避難できるか心配	1
遠い	1
遠すぎる	1
何も心配していない	1
家にいる時は家族ですが、施設を利用しているときは施設が避難所なので常に情報交換しています。	1
家にいる方がいい。他では難しいと思う	1
家の倒壊	1
家族がいる	1
家族と一緒にあるのでない	1
家族にまかせる	1
介護者と一緒だから	1
慣れない環境での生活に適應できるか心配。ペースメーカー装着のため。	1
急には歩けない	1
血便になりそうで、トイレが心配	1
犬や猫等のペットを連れていけるか、また子供の声等の騒音がないか。	1
現在そのような状況にあっていない	1
交通機関での移動中はどうしたらよいか不安。避難所へ行ってもどうしたらよいか分からないので不安。	1
考えたことが無い	1
今、使用している薬が手に入るか心配	1
今、入所の施設ではなにも心配する事はない。	1
今は姉と一緒にいるが、1人だけではどうしていいかわからない	1
災害が起こっている事もわからない	1
災害時に被害があったところを歩いてすすめるか不安	1
死なないか	1
私はまだ手足が十分動くので何の心配もない	1
自己注射	1

項目	回答者数
自分の苦手な事、受け入れられない事が人から見ればただのワガママ、ただでさえ非常時なのにそんな勝手を言って！ということ	1
自分自身が避難所で精神的に生活できるか不安	1
実感に従った避難訓練をする必要がある	1
重度であるため一人で命を守ることができない	1
床にすわれない、ベットがない、いす必要、トイレがとおい、段差が上がりづらい、手すりがあるか？	1
食物アレルギーもあるので、その心配もある。	1
心配してもしかたがない	1
親がいるから大丈夫	1
親に聞く	1
水が沢山出た時に心配。	1
水の確保	1
声での案内がわからない(聞こえないから)	1
全く理解できないレベル	1
全力で走れない	1
体重が大きすぎるので妻一人の介護では無理	1
大勢の中へはいけない。	1
長期にわたる場合、病院へ通院ができるか。	1
適切な判断ができるかどうか	1
入所	1
入所している施設が安全だと思う	1
認知症のため分からない	1
漠然とした不安。自分に必要な情報がスルーしてよいかの判断が困る	1
比較的立地に恵まれているので	1
避難しない	1
避難する必要はない	1
避難する様な機会がなく判らない	1
避難できるか不安だ	1
避難所が遠いから	1
避難所での食事(極端な偏食のため)	1
避難所で過ごすこと自体が難しい	1
避難所で他人と同じ場所にいること。たくさんの方がいると不安になる。	1
避難所に車イスで行った時の●がない	1
避難所に薬が確保されているか心配	1
避難所は基本的に配慮はされていないと思っている。そのため避難するつもりはない。	1
避難所自体が安全かどうか分からない	1
避難場所へ無事行けるか(距離的な問題)	1
必要な支援について伝えられる適切な人がいるかどうか不安。	1
不安ない	1
不安はない	1
不安を感じたことはない(今までは)	1
福祉避難所に家族で入れるか心配	1
分からない	1
本人がどう思っているか分からない	1
本人がパニックになったら避難所へ行けない	1
薬がなくなったら。。	1
薬が手に入るかが心配です。	1
薬の処方	1
洋式トイレが必要	1
洋式トイレじゃないとダメ	1
家が壊れないか心配です。	1
避難できない	1
総計	100

問98 あなたは、災害対策として、どのような施策や取組みが必要だと思いますか。(いくつでも選択)

項目	回答者数	割合
障害の特性に配慮した災害情報の提供	435	29.7%
避難するときの介助者や支援者の確保	457	31.2%
障害のある人に配慮した設備等を有する避難所又は避難場所の確保	619	42.3%
障害のある人が排除されない(共生できる)避難所	487	33.3%
避難所(避難場所)での介助者や支援者の確保	430	29.4%
避難所生活におけるプライバシーを守る対策	581	39.7%
被災しても医療行為を受けられる環境の確保	689	47.1%
その他	64	4.4%
無回答	182	12.4%
合計	3944	

問100 あなたは、将来の生活に不安を感じていますか。(1つだけ選択)

項目	回答者数	割合
感じている	535	36.5%
どちらかといえば感じている。	360	24.6%
どちらかといえば感じていない	228	15.6%
感じていない	187	12.8%
無回答	154	10.5%
合計	1464	100.0%

31障福第2070号
31健障支第811号
令和2年1月29日

31障福第2070号
令和2年1月29日

県内障害者支援施設の管理者 様

愛知県福祉局福祉部障害福祉課長
名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課長
(公 印 省 略)

福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査の実施について（依頼）

平素から、愛知県及び名古屋市の障害福祉施策の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県と市では、これまで5期にわたり策定した「愛知県障害福祉計画」「名古屋市障害福祉計画」において、福祉施設入所者の地域生活への移行に関する目標の設定を行い、その達成に向けて取り組んでまいりました。

現行の第5期計画の計画期間が令和2年度末で満了となりますので、新たに第6期計画を策定する必要がありますが、第6期計画の策定に当たっては、第5期計画の策定時と同様に、県内の障害者支援施設における入所者のニーズを勘案しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、貴施設における入所者の意向について下記のとおり御提出いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1 調査の内容

「令和元年度福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査 実施方針」のとおり

※ 調査の実施に当たっては、別添の「福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査 実施要領（記入者向け）」を参考としてください。

2 提出資料

福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査 回答票

3 提出方法

次のメールアドレスに電子データで提出

(1) 名古屋市内の施設 名古屋市障害者支援課 (a2560@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp)

(2) 名古屋市以外の施設 愛知県障害福祉課 (shogai@pref.aichi.lg.jp)

4 提出期限

令和2年5月20日（水）

愛知県福祉局福祉部障害福祉課

担 当 地域生活支援グループ（関）

電 話 052-954-6294（ダイヤルイン）

メール shogai@pref.aichi.lg.jp

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課

担 当 施設事業係（金森）

電 話 052-972-2560

メール a2560@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

各市町村障害福祉担当課長 様
(名古屋市を除く。)

愛知県福祉局福祉部障害福祉課長
(公 印 省 略)

福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査の実施について（通知）

平素から本県の障害福祉施策の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、これまで5期にわたり策定した「愛知県障害福祉計画」において、福祉施設入所者の地域生活への移行に関する目標の設定を行い、関係市町村に御協力をいただきながら、その達成に向けて取り組んでまいりました。

令和3年度から計画期間が始まる第6期障害福祉計画の策定に当たっては、第5期計画の策定時と同様に、県内の障害者支援施設における入所者のニーズを勘案しながら検討を進めることとしており、別添のとおり県内の障害者支援施設の管理者あてに調査を依頼しましたので、御承知ください。

なお、調査結果につきましては、各市町村にも適宜情報提供する予定としています。

担 当 地域生活支援グループ（関）

電 話 052-954-6294（ダイヤルイン）

メール shogai@pref.aichi.lg.jp

令和元年度福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査 実施方針

1 調査の目的

福祉施設入所者の地域生活への移行に関し、課題整理や今後の取組施策の検討、令和3年3月策定予定の第6期愛知県障害福祉計画の成果目標設定等の参考資料とするため、福祉施設入所者のニーズや取り巻く状況等を把握する。

2 調査方法

調査対象施設に調査票等を郵送し、施設職員等が調査票をもとに調査対象者に聞き取り等を行い、その結果を電子データにより提出する。

3 実施主体

愛知県、名古屋市

4 調査対象施設

県内の障害者支援施設 73 施設のうち、対象外施設^(※)を除く 70 施設

※ 対象外施設：公立施設（名古屋市あけぼの学園、名古屋市総合リハビリテーションセンター）及び米山寮盲児部

5 調査対象者

調査基準日に対象施設に入所している方^(※)であって、県内の市町村で支給決定を受けている方【全数調査】

※ 調査基準日に入所した方を含み、調査基準日に退所した方を除く。

※ 調査基準日に入所中であつた方であっても、本人に実際に聞き取り調査を行う前に退所した方を除く。

6 調査基準日

令和2年3月1日

7 調査時期

令和2年3月～4月

（令和2年1月下旬調査票発送、令和2年5月20日提出期限）

8 公表方法

回答を統計的に処理し、個人が特定できないよう配慮した上で、集計結果を愛知県や名古屋市の審議会等の会議資料として利用し、会議後にホームページ等で公開する。

9 実施方法

- ・名古屋市内の施設については名古屋市に提出し、名古屋市以外の施設については愛知県に提出する。
- ・愛知県において全データを集約し、名古屋市が支給決定した者の分のデータを名古屋市に提供する。
- ・分析及び公表については、愛知県・名古屋市が、それぞれ保有するデータについて行う。

福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査 調査票

以下の設問について、別添の「回答票」に回答を記入してください。

なお、この調査票の中で、「この方」・「ご本人」とあるのは、「入所者」のことです。

1. 基本属性 【問1～問9】

入所者一人一人の基礎データについて、施設職員等の方がご回答ください。

問1 この方の性別は？

下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	男性
②	女性

問2 この方の入所時の年齢は？

「歳」を除いて、ご記入ください。

(例) 55歳の方 ⇒ 「55」と記入してください。

問3 この方の令和2年3月1日現在の年齢は？

「歳」を除いて、ご記入ください。

(例) 55歳の方 ⇒ 「55」と記入してください。

問4 この方の支給決定市町村名は？

該当する市町村名をご記入ください。

(注意) 本調査の対象者は、愛知県内で支給決定を受けている方ですので、愛知県外の市町村名を記入していないかご確認ください。

問5 この方の入所年月日は？

この方が貴施設に入所された年月日をご記入ください。

(例) 昭和50年4月1日に入所された方 ⇒ 「S50.4.1」と記入してください。
平成29年3月31日に入所された方 ⇒ 「H29.3.31」と記入してください。
令和2年1月31日に入所された方 ⇒ 「R2.1.31」と記入してください。

問6 この方の主な障害種別は？

下表から主な障害を最大2つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢	回答記号	選択肢
①	身体障害（肢体不自由）	⑤	知的障害
②	身体障害（視覚障害）	⑥	精神障害
③	身体障害（聴覚障害）	⑦	発達障害
④	身体障害（その他）	⑧	難病

問7 この方の障害支援区分は？

該当する障害支援区分の数字のみをご記入ください。

(例) 障害支援区分4の認定を受けている方 ⇒ 「4」と記入してください。

問8 この方は、成年後見制度を利用していますか。

下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答番号	選択肢
①	利用していない
②	利用している（成年後見）
③	利用している（保佐）
④	利用している（補助）
⑤	利用しているが、どの類型（成年後見、保佐、補助）か把握していない
⑥	成年後見制度の申立て中である
⑦	利用しているかどうか、わからない

問9 この方は、平成30年8月に実施したニーズ調査（追加調査）の対象者でしたか。

下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

(注意) 平成30年8月に実施したニーズ調査（追加調査）の対象者かどうかの判断は、各施設あて依頼文の別紙を参照してください。

回答番号	選択肢
①	対象者であり、氏名を提供している
②	対象者であるが、氏名は提供していない
③	対象者ではない

2. 地域移行に関する状況【問10～問16】

この方の地域生活への移行に向け、入所施設が行っている取組等について、施設職員等の方の判断によりご回答ください。

問10 あなた（この調査票を記入していただいている方）の職種等は？
下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	サービス管理責任者
②	生活支援員（経験年数3年以上）
③	生活支援員（経験年数3年未満）
④	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問11 この方に対して、貴施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？
下表から該当するものを最大3つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	地域生活に関する情報提供（DVD、写真など）
②	施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供（ピアサポーターを含む）
③	グループホームや「自立生活体験室」などの見学
④	宿泊体験や地域生活チャレンジ事業（愛知県委託事業）、身体障害者自立生活体験事業（名古屋市委託事業）への参加
⑤	今利用しているところとは違う日中活動の見学・体験
⑥	「地域移行支援」サービスの紹介
⑦	地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携
⑧	ご本人を交えてのケア会議・相談会
⑨	地域生活移行に関するご本人のニーズの定期的な確認
⑩	グループホームでの生活に向けた日常生活訓練等
⑪	特に何もしていない
⑫	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問12 この方のご家族に対して、貴施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？
下表から該当するものを最大3つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	地域生活に関する情報提供（DVD、写真など）
②	施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供（ピアサポーター等を含む）
③	グループホームや「自立生活体験室」などの見学
④	宿泊体験や地域生活チャレンジ事業（愛知県委託事業）、身体障害者自立生活体験事業（名古屋市委託事業）への参加
⑤	「地域移行支援」サービスの紹介
⑥	地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携
⑦	ご家族を交えてのケア会議・相談会
⑧	成年後見制度の紹介
⑨	特に何もしていない
⑩	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問13 この方は、現在の地域における障害福祉サービスの利用により、地域生活へ移行することが可能と考えられますか？
下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

（注意）この方の障害の状態と、現在の地域における支援の提供体制を踏まえ、現実的に可能かどうか、日頃から支援をしている施設職員の方の判断によりご回答ください。

回答記号	選択肢
①	可能
②	困難

⇒ ①と回答された場合は、問16へ進んでください。

⇒ ②と回答された場合は、問14へ進んでください。

問 14 問 13 で「②困難」と回答（判断）された入所者に対して、お尋ねします。
それはどうしてですか。

下表から当てはまるもの全てを選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	現在の地域における環境（障害福祉サービスや支援の提供体制）では、現実的には難しい
②	ご本人の強い意向
③	ご家族の強い意向
④	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

⇒ 回答に①を含む場合は、問 15 へ進んでください。

⇒ 回答に①を含まない場合は、問 16 へ進んでください。

問 15 問 14 で「①現在の地域における環境（障害福祉サービスや支援制度の提供体制）では、現実的には難しい」と回答（判断）された入所者に対して、お尋ねします。

どのようなサービスや支援が充実すれば、可能となる見込みがあると思われますか？

下表から該当するものを最大 3 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	日中サービス支援型グループホームの増加
②	夜間支援を行うグループホームの増加
③	行動障害に対応したグループホームの増加
④	医療的ケアに対応したグループホームの増加
⑤	グループホームで身体介護や重度訪問介護が利用できるよう、制度改正
⑥	一般住宅（アパート・公営住宅等）への入居支援の充実（保証人の確保に向けた支援等を含む）
⑦	訪問系の障害福祉サービスの充実（例：居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護 等）
⑧	日中活動系の障害福祉サービスの充実（例：生活介護、就労移行支援、就労継続支援 A 型・B 型 等）
⑨	24 時間ケア（見守り）が行える体制の整備
⑩	ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材（寄り添う人）の確保
⑪	地域における相談支援体制の充実（困ったときに気軽に相談できる体制の整備、相談支援関係機関間等のネットワークの強化）
⑫	医療的ケアの提供体制の充実（身近な地域において、医療的ケアを受けることができる事業所等の増加）
⑬	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問 16 あなた（記入されている方）が、この方の地域生活への移行に取り組もうとした場合に、特に調整を要する事項（課題）と考えられることは、次のうちどれですか？

下表から該当するものを最大 3 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	ご本人が地域生活への移行に向けた意思を持つこと
②	ご家族の理解と協力
③	地域住民の理解
④	入所施設における、この方の地域生活移行を推進する意識の醸成・支援の充実
⑤	入所施設職員の地域生活移行の知識・経験
⑥	相談支援事業所との連携
⑦	市町村との連携（地域移行に向けたサービスの支給決定を含む）
⑧	調整事項等なし（近日中に地域生活へ移行予定）
⑨	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

3. ご家族等の意向【問 17】

問 17 この方の地域生活への移行に関するご家族等の意向は、次のうちどれですか？

下表から該当するものを 1 つ選び、回答記号をご記入ください。

（注意）この設問は、ご家族の意向に沿ってご回答ください。未把握の場合は、ご家族に聴き取りをお願いします。

（注意）ご家族がいない方であって、成年後見制度を利用している方については、成年後見人（保佐人・補助人を含む）に聴き取りをお願いします。

回答記号	選択肢
①	施設での生活を希望している
②	地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活（自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等）を希望している
③	本人の希望のとおりになりたい
④	わからない
⑤	答えたくない
⑥	家族がおらず、成年後見制度も利用していないため、回答できない

4. ご本人のニーズ等【問18～問25】

ご本人の地域生活移行に関するニーズについて、入所についてのサービス等利用計画を作成している相談支援専門員（相談支援専門員の聞き取りが困難な場合には、施設職員等）が、可能な範囲で入所者一人一人に聞き取った上で、入所者の意向に沿って、ご回答ください。

問18 あなた（この方に聞き取りを行った方）の職種等は？
下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	入所についてのサービス等利用計画を作成している相談支援専門員
②	サービス管理責任者
③	生活支援員（経験年数3年以上）
④	生活支援員（経験年数3年未満）
⑤	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問19 この方から、言語・態度・表情等による意思表示を受けて、問20以降の聞き取りを行うことができますか。
下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	ご本人からの意思表示を受けて、聞き取りが可能 （ご本人からの意思表示を読み取って、回答することができる）
②	ご本人からの意思表示を受けて、聞き取りが不可能 （ご本人からの意思表示を読み取ることができない）

- ⇒ ①と回答された場合は、問20へ進んでください。
⇒ ②と回答された場合は、これで質問は終わりです。

～ 以下の問20～問25については、ご本人に聞き取りの上、ご回答ください ～

問20 あなたは、地域生活への移行に向けて、次のような取組を経験したことがありますか。
下表から経験したことがあるものを選び、回答記号をご記入ください。（回答はいくつでも）

回答記号	選択肢
①	地域生活に関するDVDや写真などを見たことがある
②	施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞いたことがある
③	グループホームや「自立生活体験室」などを見学したことがある
④	施設以外の場所で宿泊体験をしたことがある
⑤	地域生活で利用できるサービスについて、説明を受けたことがある
⑥	地域生活への移行について、相談支援専門員や施設の職員が主催するケア会議や相談会に出席したことがある
⑦	①～⑥の取組を経験したことがない
⑧	わからない
⑨	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問21 あなたは、これから、どこで生活したいと思いますか？
下表から該当するものを1つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	今いる施設で生活していきたい
②	違うところで生活していきたい
③	今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところに行ってみたい
④	わからない
⑤	答えたくない

- ⇒ ①と回答された場合は、問22へ進んでください。
⇒ ②と回答された場合は、問23へ進んでください。
⇒ ③と回答された場合は、これで質問は終わりです。
⇒ ④と回答された場合は、問25へ進んでください。
⇒ ⑤と回答された場合は、これで質問は終わりです。

問 22 問 21 で「①今いる施設で生活していきたい」と答えた方に対して、お尋ねします。
それはどうしてですか。
下表から該当するものを最大 3 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	今いる施設が楽しい、安心だから
②	他に生活する場所がないから
③	施設を出ると、料理・掃除・洗濯などで困るから（家事）
④	施設を出ると、食事・お風呂・トイレなどで困るから（身体介護）
⑤	自活するお金・収入がないから
⑥	今いるところ以外で生活するのは寂しい、自信がないから
⑦	困ったときに、どうしていいかわからないから
⑧	家族や周りの人が心配するから
⑨	ここでの生活以外よくわからないから（情報が無い、体験したことが無い）
⑩	わからない
⑪	答えたくない
⑫	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

⇒ これで質問は終わりです。

問 23 問 21 で「②違うところで生活していきたい」と答えた方に対して、お尋ねします。
どこで生活したいとお考えですか。
下表から該当するものを 1 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	家族と同居
②	自宅やアパート、公営住宅などで一人暮らし
③	支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅（障害者グループホームや福祉ホーム、認知症高齢者グループホームなど、障害者総合支援法又は介護保険法上の施設）
④	支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅（サービス付き高齢者向け住宅やシェアハウスなど、障害者総合支援法又は介護保険法以外の施設）
⑤	他の入所施設（障害者支援施設や特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等）
⑥	わからない
⑦	答えたくない
⑧	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

問 24 問 21 で「②違うところで生活していきたい」と答えた方に対して、お尋ねします。
今いる施設から出たら、どの地域で生活したいと思いますか。
下表から該当するものを 1 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答番号	選択肢
①	前に住んでいたところや家族の近く
②	今の施設の近く
③	①、②以外の地域
④	わからない
⑤	答えたくない

⇒ これで質問は終わりです。

問 25 問 21 で「④わからない」と答えた方に対して、お尋ねします。
それはどうしてですか。
下表から該当するものを 1 つ選び、回答記号をご記入ください。

回答記号	選択肢
①	ここでの生活以外よくわからない（情報が無い、体験したことが無い）
②	具体的に考えたことが無い
③	イメージがわからない（意味がわからない）
④	答えたくない
⑤	その他（具体的な内容を回答票（別紙）に記入してください）

⇒ これで質問は終わりです。

～ ご協力ありがとうございました ～

**福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査
実施要領（記入者向け）**

1 調査の目的

福祉施設入所者の地域生活への移行^(※)に関し、入所者のニーズや取り巻く状況等を把握し、課題整理や今後の取組施策の検討、令和3年3月策定予定の第6期愛知県障害福祉計画及び第6期名古屋市障害福祉計画の成果目標設定等の参考資料とするため、実施するものです。

※ 「地域生活への移行」とは、障害のある方が、生活の場を入所施設から自宅・グループホーム・アパート・公営住宅・福祉ホーム等に移すことをいい、他の入所施設や老人ホームへの移行は含みません。

2 調査の概要

(1) 調査基準日

令和2年3月1日

(2) 調査対象

調査基準日に対象施設に入所している方^(※)であって、県内の市町村で支給決定を受けている方【全数調査】

※ 調査基準日に入所した方を含み、調査基準日に退所した方を除きます。

※ 調査基準日に入所中であつた方であっても、本人に実際に聞き取り調査を行う前に退所した方を除きます。（調査実施前に退所された方は、調査を行う必要はありません。）

(3) 提出期限

令和2年5月20日（水）

(4) 回答方法

一人一人について作成した回答票の内容を指定するファイルに入力し、施設分を取りまとめて電子データで提出してください。

(5) 問い合わせ・提出先

ア 名古屋市内の施設

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課施設事業係（金森）

E-mail：a2560@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

電話：052-972-2560

イ 名古屋市以外の施設

愛知県福祉局福祉部障害福祉課地域生活支援グループ（関）

E-mail：shogai@pref.aichi.lg.jp

電話：052-954-6292

3 調査方法

(1) 施設職員回答項目（問1～問16）

施設職員等が入所者の状況について一人一人確認の上、回答票に記入してください。

(2) ご家族聞き取り項目（問17）

施設職員等がご家族に聞き取りの上^(※)、回答票に記入してください。

※ この調査の実施前にご家族の意向が確認できている場合については、改めて聞き取りを行っていただく必要はありません。

(3) ご本人聞き取り項目（問18～問25）

相談支援専門員又は施設職員等が入所者ご本人に聞き取りの上^(※)、回答票に記入してください。

※ 施設側の負担等を勘案し、問20～問25については、ご本人の意思表示（態度や表情等を含む。）を読み取ることが可能な場合のみ、回答を作成してください。

4 聞き取り時の配慮

入所者ご本人やご家族の聞き取りに当たっては、下記の点に配慮し、対応可能な範囲内で対応してください。

(1) ご本人の聞き取り（問18～問25）は、可能な限りご本人のサービス等利用計画を作成している相談支援専門員が行ってください。その際に、ご本人の意向をできる限り正確に引き出すことができるよう、サービス管理責任者又は経験豊富な生活支援員の立会をお願いします。なお、回答期限までに相談支援専門員が聞き取りを行うことが困難な場合は、サービス管理責任者又は経験豊富な生活支援員が聞き取りを行ってください。

(2) この調査は、個々の入所者の退所等を促すものではありません。地域生活移行は、あくまでご本人の意思が主体となりますので、ご本人やご家族が不安に思わないよう、丁寧な説明をお願いします。

(3) 聞き取りを始める前に、ご本人やご家族に実施要領（ご本人・ご家族向け）の内容を説明し、ご理解いただいた上で聞き取りを行ってください。

(4) ご本人の状態や可能性、施設の運営方針等に関わらず、ご本人やご家族の意向を踏まえた回答を作成してください。

(5) ご本人やご家族の聞き取りに当たっては、事前に地域生活やグループホーム等に関するDVDや写真、パンフレット等を活用したり、実際に施設を退所して地域で生活している方の話を聞く機会を設けるなど、地域での生活を具体的にイメージできるような配慮をお願いします。また、聞き取りの際にピア活動をされている方が同席するなど、ご本人が答えやすい環境の配慮をお願いします。

(6) ご本人やご家族に聞き取りを行っていただく調査項目については、回答を強制するものではありません。ご本人やご家族にはその旨お伝えいただき、「答えたくない」「わからない」との意向が示された場合は、そのまま回答してください。

5 その他

ご本人から、地域移行を希望する（もっと話を聞いてみたい）等の意向が示された場合は、ご本人の承諾を得たうえで別添の「地域移行希望者伝達票」を作成し、愛知県まで郵送で提出してください。ご本人の意向が反映できるよう、愛知県から市町村に連絡します。

※ この伝達票は、調査終了後も含め、いつでも提出していただくことができます。

送付先：愛知県福祉局福祉部障害福祉課

地域生活支援グループ

〒460-8501
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号

施設名	
記入者 職・氏名	

地域移行希望者伝達票

福祉施設入所者の地域生活移行について、下記のとおり希望者がありましたので、報告します。

記

1 希望者

ふりがな 氏名	男・女 (歳)
支給決定市町村	(入所年月日： 年 月 日)

2 希望者の意向（該当するものに○を記入してください。）

ア 地域生活移行を希望する

イ 地域生活移行について、もっと詳しく話を聞いてみたい

3 ご本人の署名

この用紙を、支給決定市町村やあなたのサービス等利用計画を作成している相談支援事業所に提供することを承諾します。

氏名（自署又は代筆）_____

_____年 月 日署名

**福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査
実施要領（ご本人・ご家族向け）**

1 調査の目的

福祉施設入所者の地域生活への移行^(※)に関し、入所者のニーズや取り巻く状況等を把握し、課題整理や今後の取組施策の検討、令和3年3月策定予定の第6期愛知県障害福祉計画及び第6期名古屋市障害福祉計画の成果目標設定等の参考資料とするため、実施するものです。

※ 「地域生活への移行」とは、障害のある方が、生活の場を入所施設から自宅・グループホーム・アパート・公営住宅・福祉ホーム等に移すことをいい、他の入所施設や老人ホームへの移行は含みません。

2 調査対象者

調査基準日に対象施設に入所している方^(※)であって、県内の市町村で支給決定を受けている方【全数調査】

※ 調査基準日に入所した方を含み、調査基準日に退所した方を除きます。

※ 調査基準日に入所中であつた方であっても、本人に実際に聞き取り調査を行う前に退所した方を除きます。（調査実施前に退所された方は、調査を行いません。）

3 留意事項

- (1) 調査は、相談支援専門員又は施設職員等が聞き取りにより行います。質問票を見たい場合や、自ら回答を記入したい場合は、聞き取りを行う職員にお伝えください。
- (2) 調査は、回答を強制するものではありません。答えたくない質問については、聞き取りを行う職員にお伝えください。
- (3) ご回答いただいた内容は、個人が特定できないよう配慮した上で、統計的な処理を行います。
- (4) 調査結果は、県や市町村が実施する会議等の資料として公表する可能性があります。個人が特定できる情報（名前や生年月日など）が公表されることはありません。
- (5) 調査結果は、愛知県と県内市町村が策定する障害福祉計画の参考データとして活用させていただきます。そのため、個人の名前を含まない形で、県と市町村の間で情報共有する場合があります。

4 問い合わせ先

(1) 名古屋市内の施設に入所されている方

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課施設事業係（金森）
電 話：052-972-2560

(2) 名古屋市以外の施設に入所されている方

愛知県福祉局福祉部障害福祉課地域生活支援グループ（関）
電 話：052-954-6292

あなたのことを聞かせてください（聞き取り調査のお願い）

- この調査は、施設で暮らしている全員の方に行います。
- この調査は、施設で暮らしているみなさんが、これから先、どこでどのように暮らしていくと今より幸せになれるのか、みんなで考えていくために行うものです。
- これから、相談員さん（施設の職員さんのこともあります）が、あなたにいろいろと質問しますが、答えたくない場合や質問が難しい場合は、そう言うってください。
- あなたから聞いたお話しは、相談員さん（職員さん）から、愛知県と、あなたの生活を応援している市町村に伝えてもらいます。
- あなたから聞いたお話を、ほかの人の話と合わせて発表することがありますが、あなたの名前が出ることはありません。
- この調査について、心配なことや不安なことがあったら、いつでも施設の職員さんに言ってください。

● この調査の目的について ●

- どこでどのように暮らすのか、だれでも自分で決めることができます。
- あなたは、このまま今の施設で暮らすこともできます。
- けれど、あなたが今、グループホームやアパートなどで暮らしてみたいと思っていたら、市町村や施設の職員、相談員など、あなたの生活を応援しているみなで、どうしたらよいかを考えていきます。そのために、この調査を行うこととしました。
- この調査では、あなたがこれから先、どこでどのように暮らしたいと思っているのかを教えてください。
- あなたの希望は、いつでも変えることができますので、安心して、今の気持ちをおしえてください。
- 今は施設で暮らしたいけれど、調査の後に、アパートやグループホームなどでの暮らしについて、もっと詳しく話を聞いてみたいと思ったら、いつでも施設の職員さんに言ってください。

＜調査実施者＞ 愛知県障害福祉課 電話052-954-6292

名古屋障害者支援課 電話052-972-2560

精神障害者の地域移行支援について

1 保健、医療、福祉関係者による協議の場

愛知県精神障害者地域移行・地域定着推進協議会

(1) 概要

平成29年度より、本県における精神障害者の地域移行及び地域定着支援に向けた協議を行うために設置。構成員は12名で、学識経験者、保健医療福祉の事業従事者、家族、当事者等で構成。

(2) 令和元年度実績

ア 開催日

令和元年10月21日（月）

イ 出席者

19名（うち事務局8名）

ウ 議題

(ア) 愛知県における地域移行・地域定着の状況及び取組について

- ・ 愛知県における精神障害者地域移行・地域定着体制について、保健所における協議の場の取組状況等を報告。
- ・ 愛知県精神保健福祉センターが実施する地域移行支援に係る研修について報告。

(イ) 関係機関の取組について

- ・ ピアサポーター活動等による精神障害者地域移行支援事業について報告。
- ・ 愛知県精神保健福祉センターにおけるピアサポーター研修について報告。

エ 構成員からの意見

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた事例を通じた連携の必要性。
- ・ 地域移行に関する各地域の取組の検証及び好事例を全県下に広める必要性。
- ・ 限られたマンパワーで有効な支援を行うための多機関での情報共有や連携の推進の重要性。

2 地域移行支援に係る研修

(1) 概要

愛知県精神保健福祉センターにおいて、コア機関チーム養成を目的とした「コア機関チーム研修」及び医療と福祉の連携を目的とした「医療・福祉連携合同研修」を実施。

(2) 事業内容

① コア機関チーム研修

開催日：令和元年12月2日（月）

内 容：①講義「精神保健福祉資料（ReMHRAD等）の使い方と活用」

②実演「精神保健福祉資料データを読み解く試み—西三河南部西圏域を例に一」

③演習「自圏域の精神保健福祉資料データを読み解く試み」

参加者：29名（保健所職員、相談支援事業所職員、市町村担当者、地域アドバイザー）

② 医療・福祉連携合同研修

開催日：令和2年2月22日（土）

内 容：①講義「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

②報告「愛知県の現状」

③講義「クロザピン治療等最新の精神科医療・薬について」

④医療、保健、福祉各分野からの実践報告

参加者：定員100名（保健所職員、相談支援事業所職員、市町村担当者、精神科病院職員、地域アドバイザー等）

3 ピアサポーター活動等による地域移行支援事業

(1) 概要

精神障害者が地域で安心して生活できる体制を整備するため、当事者の立場から支援にあたるピアサポーターが、病院へ出向いて自らの体験談を話すプログラムを行う。なお、本事業は精神保健福祉士協会への委託により実施している。

(2) 平成 30 年度実績（カッコ内は平成 29 年度実績）

- ・実施医療機関 13 (10) 病院
 - ・実施回数 延 26 (15) 回
 - ・ピアサポーター従事者数 実 33 (26) 名、延 64 (42) 名
 - ・参加者 延 600 (434) 名
- | | | |
|------|-----------|-------------|
| 【内訳】 | 当事者 | 300 (223) 名 |
| | 医 師 | 9 (6) 名 |
| | 看護師 | 140 (76) 名 |
| | P S W | 66 (58) 名 |
| | その他医療機関職員 | 56 (54) 名 |
| | 関係機関 | 22 (16) 名 |
| | その他 | 7 (1) 名 |

(3) 令和元年 8 月時点でのピアサポーター名簿登録者人数

80 名

4 ピアサポーター養成について

精神保健福祉センターにおいて、以下の研修を実施。養成研修後、希望者は名簿登録して本事業に従事。

(1) ピアサポーター養成研修

日 時：令和元年 8 月 5 日（月）午前 10 時 30 分から午後 4 時 45 分まで

内 容：①講義「ピアサポーターとは？・支援する際の心得」「ピアサポーターの仕事・活動と働き方」
②報告「愛知県のピアサポーター活動の紹介」
③グループワーク

参加者：63 名（当事者 21 名、支援者 40 名、当事者かつ支援者 2 名）

(2) ピアサポーターフォローアップ研修

開催日：令和 2 年 3 月 6 日（金）

内 容：①講義「支援する際の心得などのおさらい」
②ピアスタッフ、支援者によるシンポジウム
③グループワーク

参加者：60 名（定員）

令和元年度障害者相談支援アドバイザー会議 検討状況等報告

	重点検討事項：地域生活支援拠点等の整備について	情報共有事項：地域（生活）移行について	情報共有事項：人材育成、人材定着等に係る働きかけ
検討内容等	<p>◎第1回アドバイザー会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 各圏域の整備状況等の共有 令和2年度までの地域生活支援拠点の整備促進について検討 	<p>◎第1～3回アドバイザー会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 各圏域の入所施設・精神科病院からの地域移行についての情報共有 地域生活移行の推進について検討 	<p>◎第1～3回アドバイザー会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 各圏域の状況等の情報共有 各市町村の実施状況の情報共有
主な意見等	<p>地域アドバイザー意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域生活支援拠点等の整備については、計画最終年度末までに設置予定であり、現在内容を検討中という市町村が多い。 地域生活支援拠点等の整備については、作るだけならすぐにもというところもあるが、作って終わりにしたくないので、本当に必要な機能は何なのか市町村の中で再協議し、持続可能な在り方を検討している市町村もある。 地域生活支援拠点等をすでに整備済の市町村に対しても作ったから終わりにならないよう、機能等の充実を図れるよう働きかけていきたい。 児童発達支援センターは母子通園等から移行したケースが多いが、人口規模によってはセンターを目指すのが難しい状況もある。センター機能を持てるよう市町村規模に応じた適切な在り方を検討していきたい。 	<p>地域アドバイザー意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設（入所施設）からの移行については、県の調査で把握された地域移行を希望されている方に個別面談等を行い、①具体的にグループホームへの移行に向けて具体的な動きに繋がりがつある方もいる一方で、②希望に変動があったり、他の入所施設に行きたいといった意見が出ていたり、御本人の意向が揺れ動いている例も見られた。また、怪我や高齢化による身体症状の変化によって、現実的に地域移行が難しい状況になってしまっているケースもある。 精神科病院からの地域への移行については、保健所や自立生活援助等の社会資源を活用して具体的な相談や取組に繋がっている例がある一方、地域によっては入院患者の大半が65歳以上であり、地域包括センターやケアマネージャー等を巻き込みながらでない移行が進みづらい状況も確認されており、今後の連携体制の在り方が課題。また、医療機関と相談支援事業所との連携についてはある程度できている地域もあるが、医療機関への働きかけも継続的に実施していく必要がある。 	<p>地域アドバイザーからの情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の中で児童発達支援管理責任者の質の話題になることがあり、自立支援協議会の専門部会で検討し、市内の児童分野の事業所を対象に研修を開催した。開催の負担も大きかったが、参加者から「参加して良かった」という声も多く、研修効果もあったと思われる。今後、様々な分野での研修開催を検討すると講師の人材不足も課題となる可能性がある。 自立支援協議会や専門部会等で課題を検討した上で、研修を企画し、実施している。地域によって課題や必要な研修等は異なっており、研修を組み立てるまでの過程も違いがあると思う。 アンケート調査等を圏域内で行ったところサービス管理責任者の困り感が現れており、グループホームや就労系事業所を対象に研修会を企画した。ニーズに即した研修が重要だと改めて認識した。 権利擁護や行動障害をテーマにした研修を圏域内の各市町村で開催した。 基幹相談支援センターが研修の実施を担う場合がある。
	<p>スーパーバイザー意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センター、地域生活支援拠点等の整備については、計画の最終年度に整備予定となっていて、現在内容を検討中としている市町村が多いので、「現在どこまで話が進んでおり、どの状況での検討中なのか？」を確認し、残っている課題や検討中の中身について工程管理をしていく必要がある。 各種整備については、どう希望していくかも確認が必要。「整備して終わり」にならないよう、設置目的やニーズを踏まえたプロセス管理等も行っていけるよう働きかけていく必要がある。 	<p>スーパーバイザー意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 県で実施した施設入所者の追加調査結果について、クロス集計等を行い、どこにターゲットをおいて専門アドバイザーの派遣等具体的なアクションに繋げていくかといった分析を進めると良い。 	<p>スーパーバイザー意見</p> <ul style="list-style-type: none"> グループホームを対象とした研修については、名古屋市社会福祉協議会が定期的に研修を開催していたと思うので、研修効果や開催状況などを共有して県の取組等の参考にすると良い。
令和2年度以降	<ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村において令和2年度中に整備するとの回答があることから、引き続き整備について具体的に状況把握と助言等を行っていくとともに、整備済みの拠点についても検証や各種情報提供等を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設入所者の地域移行については、専門アドバイザーを派遣し、移行の阻害要因等を具体的に検証し、地域移行に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度も引き続き、取組等を情報共有し、支援者の困り感を支援できるよう適宜情報発信をしていく。

◎ グループホーム整備促進支援制度について

取組	令和元年度	令和2年度（予定）
【新規開設希望者・既設事業者向け説明会】	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎会場（7/2）と名古屋会場（7/3）の2会場、新規向け・既設向けの2部制で開催 ・参加者数 新規向け：計116名 既設向け：計63名 ・既設向け説明会テーマ「支援度の高い方の受入れについて」 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様に2会場・2部制で実施予定（内容は再検討） ・既設向け説明会テーマ「支援度の高い方の受入れについて」
【ビデオ上映会】	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎会場（10/3）と名古屋会場（10/8）の2会場で開催 ・参加者数：計56名 ・参加者数：計62名 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様に実施予定（内容は再検討）
【見学会】	<ul style="list-style-type: none"> ・県内11のグループホームで開催（10/29～11/27） ・参加者数：計48名 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様に実施予定
【相談会】	<ul style="list-style-type: none"> ・午前午後の2部制、1グループ5名程度で開催予定（3/11） →開催中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前午後の2部制、1グループ5名程度で開催予定
【質に関するアンケート、利用者満足度調査】	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム支援コーディネーターにより実施 ・平成30年度に法人にとって初めて開設したグループホームを対象 ・管理者等、及び利用者からグループホームの質に関する事項について聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様に実施予定
【グループホーム支援コーディネーター打合せ会】	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施 ・各取組内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様に実施予定

※開催順について、より開設までのイメージが描きやすいよう「説明会→ビデオ上映会→見学会→相談会」の順で開催するように変更（見学会とビデオ上映会の順番を変更）。

○令和2年度からの変更点

【説明会、ビデオ上映会、相談会等の内容の再検討】

- ・質の担保に繋がるような内容にするよう自立支援協議会地域移行推進部会で提言があり、グループホームの理念等を伝える場になるよう開催内容を再検討する予定
- ・開催時期については、1ヶ月ずつ前倒しを検討

（参考）

・グループホーム住居数の推移（各年度4月1日現在）

	H28	H29	H30	H31
住居数	835	896	962	1,166
対前年度増減数	78	61	66	204

・グループホーム定員数の推移（各年度4月1日現在）

	H28	H29	H30	H31
定員数	4,371	4,849	5,138	5,929
対前年度増減数	526	478	289	791

令和2年3月12日
就 業 促 進 課

あいち障害者総合サポートデスクについて

1 サポートデスクの概要

愛知労働局と一体となって地域の障害者就労支援機関と共働し、障害者雇用に取り組む企業をサポートする企業相談窓口「あいち障害者雇用総合サポートデスク」を運営。

- 設置場所 愛知県産業労働センター17階 あいち労働総合支援フロア内
- 利用対象 障害者雇用に取り組む企業及び地域の障害者就労支援機関
- 開設日 2019年5月24日（金）
- 実施体制 愛知県：職員1名、委託事業者4名
愛知労働局：職員1名、相談員1名
※2020年4月から愛知労働局相談員及び委託事業者を各1名増

2 実施事業

- (1) 雇用支援（障害者職場実習受入企業の開拓、マッチング調整等）
- (2) 職場定着支援（企業の課題に応じた雇用から定着までの相談業務等）
- (3) 就労支援機関等を始めとする各種関係機関とのネットワークの構築
- (4) 障害者雇用関連事業への協力
- (5) 障害者雇用PR

動画の作成（2020年度新規）

実際に障害者を雇用する企業の担当者の声や障害者本人の仕事の様子、支援者の声等を盛り込んだ障害者雇用PR動画を作成し、ホームページで公開

- (6) 職場実習受入企業説明会の実施（2020年度新規）
年1回、参加企業50社

3 2019年度の実績

(1) 企業向け相談・雇用支援

利用件数 2,371件（1月末時点・国、県、委託事業者を含めた数字）

内訳：職場実習のマッチング1,221件、サポートデスクの業務内容全般749件、障害者の受入体制等217件、職場定着184件

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
利用件数	38	269	345	292	308	283	288	291	257	2,371

(2) 職場実習受入企業情報の集約・発信

職場実習受入企業のリスト閲覧に係る就労支援機関への登録(ID交付)
168機関

(3) 職場定着支援

184件（主な内容：在籍社員の勤務相談、社内研修の実施等）

(4) 各種関係機関とのネットワークの構築

- ・あいち障害者雇用総合サポートデスク関係機関連絡会議の開催（2回）
- ・名古屋市の障害者就労支援窓口「ウェルジョブなごや」との連携

(5) 障害者雇用関連事業への協力

大学等卒業予定障害者就職面接会（8月）、障害者就職面接会（三河：9月、2月、名古屋・尾張：9月・2月）等にブース出展、雇用状況のヒアリングと相談を実施

(6) 企業アンケート調査に基づく支援

県内の精神障害者雇用企業1,456社にアンケート調査を実施し、精神障害者の雇用に関して支援を必要とする企業を把握し、回答があった684社のうち、雇用管理に不安があると回答した約8割の企業に対し、「あいち障害者雇用総合サポートデスク」において訪問等により支援を実施。

【アンケート調査の結果の概要】

- ・雇用されている精神障害者は、1社当たり平均3.3人
- ・精神障害者の雇用管理に不安がある企業が77.3%
主な不安がある理由は、「安心して働いていけるか」、「症状が再発・悪化しないか」、「職場になじむことができるか」等
- ・職場定着のために障害者就労支援機関を活用していない企業が39.8%
- ・主な企業が求める職場定着に必要な支援は、「人的充実の支援」、「障害者に関する研修等の実施」、「他社事例の提供」等